

～カスリーン台風から70年～

2017年は、
カスリーン台風から70年

被災地をめぐる砂防現地見学会を開催しました。

平成29年は、関東地方に多くの被害をもたらした、カスリーン台風から70年目の年となります。

利根川水系砂防事務所は、この大災害を忘れないために、8月20日(日)に被害の大きかった、赤城山麓沼尾川流域において砂防現地見学会を実施し、当時の被害の大きさや災害から身を守るための行動などを学習していただきました。

事務局紹介



カスリーン台風と沼尾川の被害 説明



沼尾川親水公園



小田川橋



深山橋



当時の被災跡の残る
土蔵の外観見学



利根川水系砂防ボランティアによる
土砂災害と砂防施設の役割講義と模型実験



深山自治会長様による
前入沢橋付近の被害解説



カスリーン台風災害
50年祈念碑を見学し、
深山自治会長様による
復興への苦労や現在で
も続く安全への取り組み
をお話しいただきました。



見学会のまとめ



渋川市防災専門員
による防災講話



ご協力いただいた皆様
ありがとうございました。